

⑯ 日本国特許庁 (JP)

⑮ 特許出願公開

⑰ 公開特許公報 (A)

昭56—39938

⑯ Int. Cl.<sup>3</sup>  
B 60 R 13/10

識別記号

府内整理番号  
7191—3D

⑯ 公開 昭和56年(1981)4月15日

発明の数 1  
審査請求 未請求

(全 3 頁)

⑯ ライセンスプレートホルダー

⑰ 発明者 渡辺朗

東京都杉並区浜田山4—16—4

日産浜田山寮

⑯ 特願 昭54—116347

⑰ 出願人 日産自動車株式会社

⑯ 出願 昭54(1979)9月11日

横浜市神奈川区宝町2番地

⑰ 発明者 鳥居宏允

⑯ 代理人 弁理士 有我軍一郎

小金井市貫井北町5—25—14

明細書

1. 発明の名称

ライセンスプレートホルダー

2. 特許請求の範囲

前面にライセンスプレートが取り付けられるプレート取付面と該プレート取付面の周縁近傍に位置する一対のランプ取付面とを一体的に形成したことを特徴とするライセンスプレートホルダー。

3. 発明の詳細な説明

この発明は、自動車のライセンスプレートホルダーに関するもの。

一般に、ライセンスプレートおよびライセンスプレート照明ランプを取り付ける位置のリヤパネルは曲面に形成されている。このため、第1図および第2図に示す従来のライセンスプレートホルダーにおいては、ライセンスプレート(図示せず)を取り付けるために平面出しがなされたプラケット(2)をリヤパネル(3)に取り付け、

このプラケット(2)にライセンスプレートを取り付けていた。一方、ライセンスプレート照明ランプ(4)はライセンスプレートの側方に一对取り付けられるが、このライセンスプレート照明ランプ(4)は底面がリヤパネル(3)の曲面に合うよう成形された後、リヤパネル(3)に取り付けられていた。このように、ライセンスプレート照明ランプ(4)の底面を種々異なつたリヤパネル(3)の曲面に合わせて成形する必要があり、その成形作業が面倒であるばかりかこれらの取付作業が面倒となるという問題点があつた。

この発明は、このような従来の問題点に着目してなされたもので、プレートホルダー本体にプレート取付面とランプ取付面を一体に形成し、プレート取付面にライセンスプレートを、ランプ取付面にライセンスプレート照明ランプを取り付けることにより、上記問題点を解決することを目的としている。

以下、この発明を図面に基づいて説明する。

第3～6図はこの発明の一実施例を示す図で

BEST AVAILABLE COPY

ある。まず構成を説明すると、**10**はプレートホルダー本体であり、このプレートホルダー本体**10**は前面中央に平面出しがされたプレート取付面**11**と、このプレート取付面**11**の周縁近傍、すなわちその外側部に位置する平面出しがされた一対のランプ取付面**12**とを有する。プレートホルダー本体**10**の側壁部分には切欠き**13**が形成されてリヤバネル部の曲面形状に合うようになされている。プレート取付面**11**の仮想線で示す位置にはライセンスプレート（図示していない）が取り付けられ、ランプ取付面**12**にはライセンスプレート照明ランプが取り付けられる。プレートホルダー本体**10**の中央部には開口部が形成されてライセンスプレート照明ランプのハーネスのコネクタ（図示していない）に接続する際その接続作業を容易にしている。プレートホルダー本体**10**の後面で開口部の上方両外側には突起**14**が形成され、この突起**14**とプレートホルダー

(3)

への固定は貫通孔**15**に挿入されるボルトとこれにねじ込まれるナットによつても行なわれる。この固定の際には突起**14**とリヤバネル部の間に前述のようにパッキンを介在させるが、このパッキンの厚さを変えることによつてプレートホルダー本体**10**をリヤバネル部に法規に合つた傾斜角に微調整して取り付けることができる。なお、**14**は突起**14**の両外側に形成された孔であり、この孔**15**からライセンスプレート照明ランプのハーネスが導出される。

本発明は上述したようにプレートホルダー本体にプレート取付面とランプ取付面を形成し、プレート取付面にライセンスプレートを、ランプ取付面にライセンスプレート照明ランプを取り付けるようにしたので、ライセンスプレート照明ランプの底面を種々異なつたリヤバネルの曲面形状に合わせて成形する必要がないと共にこれらのランプをホルダーにサブアッセンブリしておくことが出来、作業性の向上が図れるものである。

(5)

本体**10**を貫通する貫通孔**15**にはライセンスプレートを固定するボルトがねじ込まれるようになされている。また、プレートホルダー本体**10**の後面で開口部の下方両外側にも突起**14**が形成され、この突起**14**とプレートホルダー本体**10**を貫通する貫通孔**15**にはプレートホルダー本体**10**をリヤバネル部に固定するボルトが挿入される。また、プレートホルダー本体**10**の後面で突起**14**の両外側にも突起**14**が形成され、この突起**14**とプレートホルダー本体**10**を貫通する貫通孔**15**には、ライセンスプレート照明ランプをリヤバネル部に固定するための該ランプに固着されたボルト**16**が挿入される。突起**14**とリヤバネル部との間にはボルト**16**をそれぞれ囲む所定厚さのパッキン**17**が介在される。即ちリヤバネル部の内面でボルト**16**にねじ込まれたナットがあり、このナットをボルト**16**に締め付けることによりプレートホルダー本体**10**はリヤバネル部に固定される。なお、プレートホルダー本体**10**のリヤバネル部

(4)

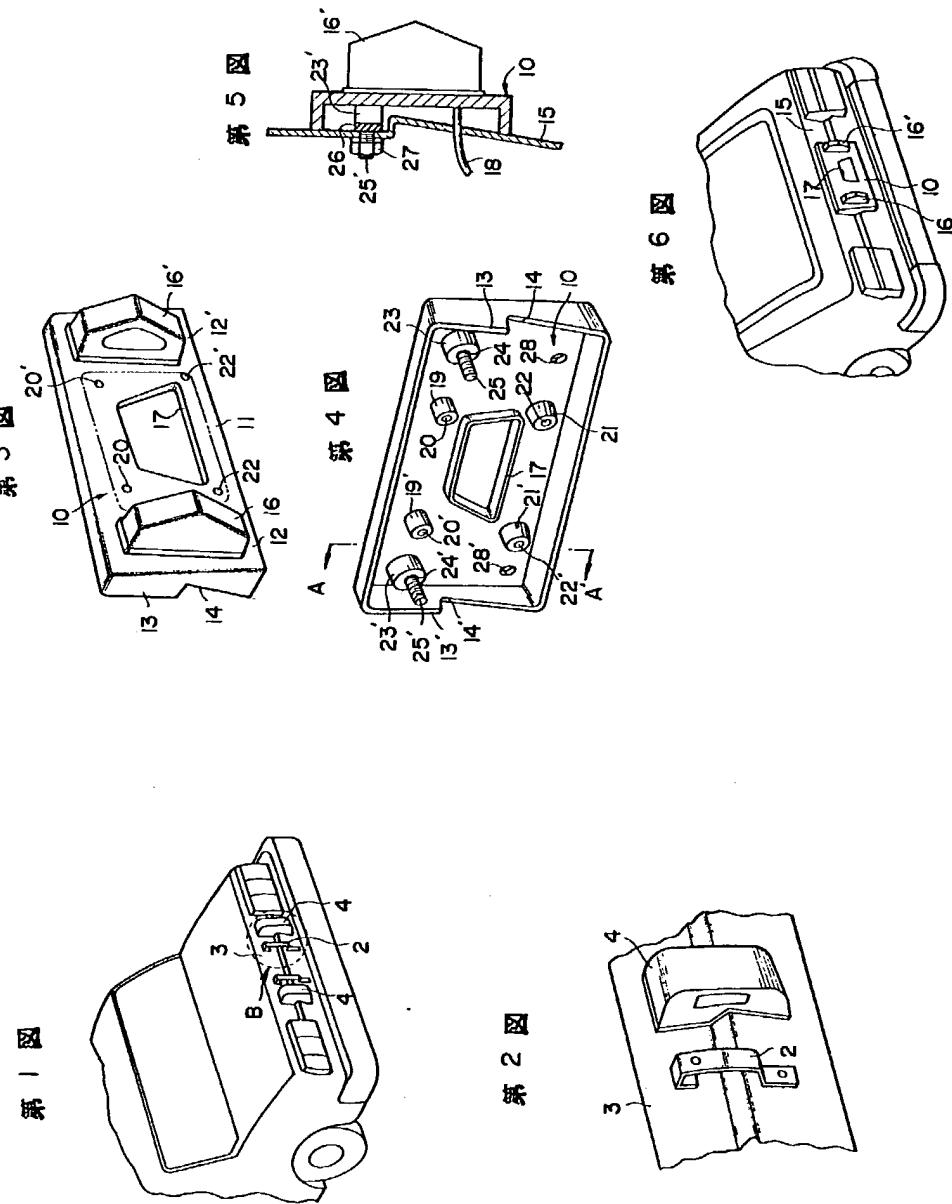
#### 4. 図面の簡単な説明

第1図は従来の自動車の後部を示すその斜視図、第2図は第1図の矢印Bで指された部分の拡大図、第3図は本発明に係るライセンスプレートホルダーの前面から見たその斜視図、第4図は第3図のライセンスプレートホルダーの後面から見たその斜視図、第5図は第4図のA-A'矢視断面図、第6図は第3、4図に示されたライセンスプレートホルダーを自動車に取り付けた状態を示す自動車の後部斜視図である。

**10**…プレートホルダー本体、**11**…プレート取付面、**12**…ランプ取付面、**13**…ライセンスプレート照明ランプ

特許出願人 日産自動車株式会社

代理人弁理士 有我軍一郎



BEST AVAILABLE COPY